



## MMWIN<sup>®</sup> みんなのみやぎネット<sup>®</sup>

より効率的で、質の高い医療・介護サービス提供のために  
Vol. 88

### 診療予約時におけるMMWINの活用モデル

病院間における連携部門での「診療予約申し込みから受診」までの工程を、MMWIN参照システムを使って効率的に解決できるモデルをご紹介します。

#### 【現在の急性期病院との病・病連携の工程例】

1. 紹介元病院は、患者さんの診療情報をFAX送信し、紹介先病院の診療予約を依頼する
2. 紹介先病院は、FAX受信後の診療情報を診療科に伝達し、診療予約日を確定した後に紹介元病院へ回答する
3. 紹介元は、検査画像（DVD化したもの）を患者さんに渡す
4. 紹介先の病院は、当日持参した紹介状および画像情報を電子カルテに取り込む
5. 登録（取り込み）完了通知を診療科に伝える

#### 【課題】従来の工程から顕在化している課題

1. 電子カルテから診療情報を閲覧できるまでは診察を始めることができず、担当医は待機せざるを得ない
2. 電子カルテへの取り込み時間は、当日の受診患者の人数に依存してしまう
3. 電子カルテの取り込み件数が多い日には診療開始時間が遅れ、その結果、患者さんをお待たせすることになる

#### 【改善点】

MMWINの利用により期待できる効果は以下の2点に整理できます。

1. 診療予約申込書に記載されていない診療情報を患者さんの来院前に参照できる
2. 来院当日の診療開始を円滑に、待ち時間短縮による患者さんの負担軽減にもなる

#### 【改善後でも工程はシンプル】

紹介元においては、①対象患者のMMWIN加入状況を確認し、未加入であれば、②加入案内を実施、その後、③診療予約申込書内に対象患者のMMWIN共通IDを記載いたします。

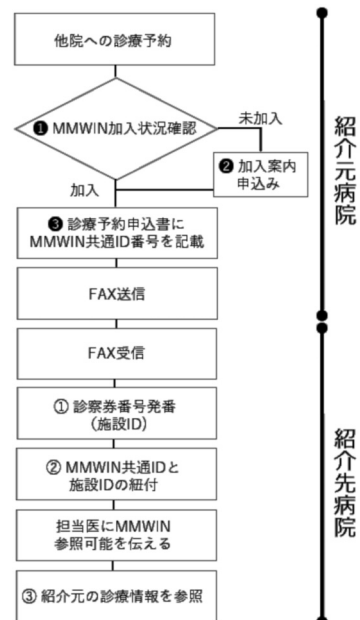
紹介先病院では、①診察券番号（施設ID）を発番し、②MMWIN共通IDと施設IDを紐付、担当医にMMWINで参照できる状況であることを伝え、③MMWINで診療情報を参照するというものです。大まかな手順は右図を参照ください。

#### 【病診連携にも展開】

患者さんが急性期病院から在宅医療に移行する際に、「患者さん受け入れの要請が出た診療所では、すぐにでも診療情報を参照したい」との要望があります。急性期病院を受診されているタイミングでMMWINの登録を済ませておくことで、生活期への移行もスムーズに行えます。

#### 【お問い合わせ先】

診療予約時におけるMMWINの活用、急性期病院から在宅医療に移行する際のMMWINの活用等に関するご要望・ご相談がございましたら、お気軽に担当営業もしくは事務局までご連絡ください。



お問い合わせ先：

一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会

Miyagi Medical and Welfare Information Network (MMWIN)

【住所】仙台市青葉区一番町1-15-19 【WEB】<http://www.mmwin.or.jp>

【TEL】022-395-6312 【FAX】022-395-6313 【E-mail】[office@mmwin.or.jp](mailto:office@mmwin.or.jp)

『MMWIN』、『みんなのみやぎネット』は、一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会の登録商標です。

